

営繕とうほく

EIZEN TOHOKU

vol.163

2024.10

発行
東北地方整備局
営繕部
盛岡営繕事務所



【 郡山労働基準監督署 完成イメージ 】

郡山労働基準監督署は築後50年以上が経過し、施設の老朽化や狭隘が著しく、業務に支障をきたしていました。本事業はこれらの課題を解消するため、令和3・4年度に設計を行い、令和6年度に着工し、令和7年度の完成を目指し事業を行うものです。

CONTENTS

取り組み紹介【令和6年能登半島地震TEC-FORCE活動】	2
取り組み紹介【DX体験学習会】	3
令和6年度 国土交通行政関係功労者表彰	4～8
11月11日は公共建築の日～11月は公共建築月間～	9～10
「公共建築相談窓口」について	11

取り組み紹介【令和6年能登半島地震TEC-FORCE活動】

令和6年1月1日（月）石川県能登地方を震源とする最大震度7及び5強の地震が連続して発生し、さらに石川県珠洲市及び能登町の沿岸には4mを超える津波が襲来し、家屋等に甚大な被害が発生しました。

各地方整備局の営繕職員を被災建築物の応急危険度判定のため、TEC-FORCEとして現地へ派遣しました。東北地方整備局からは2班6名を派遣し、1月16日～21日までの6日間、石川県珠洲市及び能登町で活動し、2班の合計で134件の応急危険度判定を行いました。



実施本部での打合せ

<活動例：1班2日目>

- 7:00 宿泊地発（能登空港）
- 8:35 実施本部署（珠洲土木事務所）
- 9:30 現地区での業務着手（上戸地区）
- 16:25 実施本部帰還、内業
- 18:30 実施本部発
- 20:00 宿泊地着（能登空港 待機支援車）



現地調査状況



現地調査状況



本部帰還後の打合せ



待機支援車での内業

取り組み紹介【DX体験学習会】

東北地方整備局では令和6年1月、岩手県立盛岡工業高等学校で、建築分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）の体験学習会を実施しました。



【 VRゴーグルを着けて体験する生徒 】

盛岡工業高等学校の建築・デザイン科の2年生35人が参加し、整備局職員がコンピュータ上に建物の立体モデルを再現する「BIM」や情報通信技術（ICT）を搭載した重機による自動施工などを紹介しました。

また、生徒は仮想現実（VR）の機材で建設中の橋をVR体験しました。

建設業への関心を深め、魅力を感じてもらうことで、建設業で活躍する新たな担い手が誕生することを期待します。

【座学の様子】

建物の立体モデル「BIM」や情報通信技術（ICT）による重機の自動施工などを学習。



座学の様子



座学の様子

【VR体験の様子】

仮想現実（VR）の機材で建設中の橋を体験。



VR体験



VR体験

令和6年度 国土交通行政関係功労者表彰

国土交通行政関係功労者表彰式の開催

令和6年度国土交通行政関係功労者表彰式が行われました。

これは、令和5年度に完了・完成した業務・工事において、成績が優秀であったものの他、卓越した技術力と責任感をもって業務・工事を完遂し、優秀な成果をおさめた施工者および技術者を対象に表彰するものです。

・表彰式の開催日および開催場所

- ①東北地方整備局長表彰：7月23日（火）、仙台国際センター 大ホール
- ②営繕部長表彰：8月2日（金）、仙台合同庁舎B棟 13階水災害予報センター
- ③盛岡営繕事務所長表彰：7月25日（木）、盛岡営繕事務所 5階共用会議室

①東北地方整備局長表彰

優良業務実施企業表彰

業務名称：気仙沼地方合同庁舎（23）津波構造等診断業務

施行企業：プレンスタッフ 株式会社

本業務は、宮城県気仙沼市にある気仙沼地方合同庁舎の対津波構造等診断業務であり、構造体及び設備機器等の津波に対する安全性を診断し、診断結果に応じて改修概略案を作成する診断業務です。

現地調査では、既存図面との整合確認のための寸法計測や現状の劣化状況の確認、写真撮影による調査記録のほかに3D点群スキャナにより記録を行い、周辺構造物を含め、診断建物を立体的に把握出来るようにしています。また、3D点群データに対津波補強の増設フレームを3Dデータで重ね合わせることで、補強材の位置・形状・箇所数を視覚的に分かりやすくする工夫を行いました。

また、対津波波力の検討にあたり、建築学会や建築防災協会の書籍に掲載のない構造計算のモデル化に関する検討については、建築士事務所協会の対津波診断マニュアルを独自に入手して検討するなど、自主的な努力を行いました。

更に、改修概略案の作成にあたり、現状の庁舎内に設置された重要な設備機器の状況を的確に把握するとともに、建築・設備担当と綿密に調整したうえで改修案を提案するなどの対応を行いました。

3D点群スキャナの提案及び、書籍に掲載のない検討については独自に文献を確認する等、高い品質管理により業務を完了させました。



【(東北地方整備局長表彰) 優良業務実施企業表彰 集合写真】

② 営繕部長表彰

営繕優良工事施工企業部長表彰

工事名称：山形県警察学校（22）浴室棟建築その他改修工事

施工企業：大友建設 株式会社

営繕優良工事技術者部長表彰

監理技術者兼現場代理人：藤木 朗 （ふじき あきら）

本工事は、山形県警察学校において老朽化した浴室棟の改修及び劣化している給湯設備等の更新を行う建築改修工事です。

生徒寮を使用しながらの改修工事であり、工事期間中も入寮者が毎日利用する必要があることから仮設シャワー室を設置し、人感センサー付照明器具設置による夜間利用時の安全確保、虫侵入防止用網戸の設置による窓からの換気の確保、窓内側のカーテン設置によるシャワー室使用時のプライバシー確保などに配慮しながら、工事を実施しました。

また、作業員に対しても、仮設トイレに各自の体調状態を把握する目安として脱水状態をチェックするカラーチャートを貼り注意喚起を行い、作業員詰所にエアコン、冷水機等を設置して熱中症予防に努めました。

更に、工事書類の効率化や情報共有の迅速化を図るため情報共有システムを導入するなど、ICTを積極的に活用し工事関係者との調整を円滑化、生産性向上に取り組み工期限内に工事を完成させました。



【受賞者との記念撮影】



【浴室（改修後）】

営繕優良業務実施企業部長表彰

業務名称：東北農政局中央宿舎（23）改修実施設計業務

施行企業：株式会社 鈴木建築設計事務所

本業務は、昭和61年（1986年）に建設された東北農政局中央宿舎について、宿舎の内外装や給排水設備等の老朽化が著しいため、入居者の住環境の改善を図るとともに長寿命化を図ることを目的として、外壁、屋根防水、内装、電気設備及び機械設備の改修を行うための改修実施設計業務です。

改修方針を検討するにあたり、既存設計図書のみでは判断しきれない部分が多くあったことから、受注者は専門業者と現地調査を実施したほか、基本設計の内容の精査のため既存仕上げ材を部分的に撤去し実際の状況を確認することで、既存状況を踏まえた的確な改修方針を決定し、成果物の内容の精度向上に努めました。

また、本業務は「若手技術者の育成支援及び地域技術者の受注拡大の試行業務」であるため、受注者は総合分野主任担当技術者に若手技術者を配置し、それを補佐する補助技術者を配置しました。

改修実施設計業務であり、既存状況を踏まえて改修方針を検討する必要がありましたが、改修設計の経験が少ない若手技術者が補助技術者と共に現地調査や打合せに参加し、改修方針を決定するなど、受注者として若手技術者育成への取り組みが行われました。

業務着手時から各段階の打合せ等において、若手技術者と補助技術者が綿密に意思疎通を図り、発注者に的確な業務方針を示し円滑に業務を遂行しました。

これらの取り組みにより、設計の品質を向上させ、設計を完了させました。



【受賞者との記念撮影】

③盛岡営繕事務所長表彰

営繕優良工事施工企業事務所長表彰

工事名称：青森地方合同庁舎（２２）建築その他改修工事

施工企業：株式会社 藤本建設

営繕優良工事技術者事務所長表彰

監理技術者兼現場代理人：奈良岡 慎也（ならおか しんや）

下請企業表彰

工事名称：青森地方合同庁舎（２２）建築その他改修工事

施工企業：株式会社 伊丸岡電気、赤平設備工業 株式会社

本工事は、青森地方合同庁舎の経年劣化により腐食、詰まり等が発生したトイレや、トイレブースなどの内装、建具の改修を行う工事です。

受注者は、入居官署が業務を行いながらのいわゆる居ながら改修工事であり、入居者の執務環境、来庁者への大きな影響を及ぼす工事内容でありましたが、工事関係者間の円滑な関係を築きながら安全確保を最優先に配慮した施工に努められました。

下請企業の２社におきましても、株式会社藤本建設と共に工夫をもって施工を進め、品質確保に努められました。

更に、工事書類の効率化や情報共有の迅速化を図るため情報共有システムを導入し、工事の円滑な施工確保対策と働き方改革を積極的に取り組まれ、週休２日促進工事の４週８休も達成し、工事を完成させました。



【受賞者との記念撮影】



【トイレブースなどの更新】



【受賞者との記念撮影】



【受賞者との記念撮影】

営繕優良業務実施企業事務所長表彰

業務名称：青森地方合同庁舎（２２）改修工事監理業務

施行企業：株式会社 川島隆太郎建築事務所

本業務は、青森地方合同庁舎（２２）建築その他改修工事を設計図書と照合し、工事が設計図書のとおり実施されているかを確認する業務です。

受注者は、現地の状況・要望によって当初設計の内容に多数変更が生じた中、頻繁に現場に足を運び、調査員や現場代理人と共に現地で設計図書との照査及び施工図の検討を行い、優良な工事監理に取り組まれました。



【受賞者との記念撮影】

11月11日は公共建築の日

～ 11月は公共建築月間 ～

公共建築は、地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を果たしています。また近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという気運が高まっています。

このような状況をふまえ、関係機関が幅広く協力し、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、生活に密着したより良い公共建築を目指していくという考えのもと「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベントとして「巡回建築パネル展」及び「施設見学会」を開催します。

公共建築の日：数字の1が4つ並ぶ11月11日
 （建物の基本的な構造である4本の柱をイメージ）
 公共建築月間：公共建築の日がある11月
 （国会議事堂が昭和11年11月完成であることに因む）



【巡回建築パネル展】

公共建築に携わる各機関が行っている業務や施策への取組を、広く県民・市民の皆様へ知っていただくため、具体的な整備事例や組織の役割等について、パネルを使って紹介するイベントです。

パネルは下記日程で、東北6県の各会場を「巡回」しますので、お近くの会場へ気軽にお立ち寄りください。

開催場所・期間	
青森県	青森県庁 北棟 1階来庁者ロビー 11月18日〔月〕～11月22日〔金〕
岩手県	岩手県庁 1階県民室 11月25日〔月〕～11月29日〔金〕
宮城県	仙台市 青葉通地下道ギャラリー 11月 1日〔金〕～11月13日〔水〕
	宮城県庁 2階ロビー 10月28日〔月〕～11月 1日〔金〕
	仙台市役所 新本庁舎整備工事現場仮囲い 11月 2日〔土〕～11月28日〔木〕
秋田県	秋田県庁 1階正庁前廊下 11月 5日〔火〕～11月 8日〔金〕
山形県	山形市 遊学館 2階ギャラリー 10月28日〔月〕～11月 1日〔金〕
福島県	福島県庁 本庁舎・西庁舎 2階渡り廊下 11月11日〔月〕～11月22日〔金〕



【パネルの一例】



【昨年度開催状況】

【施設見学会】

国・県・市等が整備する公共建築物に興味をお持ちの方を対象として、事前に申し込みのうえ参加していただく見学会を、2つの新施設で開催します。（参加無料、定員設定あり）

施設の建設について詳細な説明を受けながら、施設の各部を見学することが出来るイベントです。



【昨年度開催状況】

見学施設1：東北農林専門職大学

見学会テーマを「農林業分野における高度職業人材の育成施設」と題し、2024年4月に山形県新庄市に開学した施設「東北農林専門職大学」を見学します。

見学会では、施設概要と環境負荷の低減等に配慮した建物の特徴を紹介のうえ、施設をご覧ください。

日時：11月13日（水） 13:15～16:15（予定）



[教育・研究棟—学生ホール]



[交流棟—大講義室]

見学施設2：仙臺緑彩館

見学会テーマを「ここからはじまる仙台・青葉山の魅力発見」と題し、2023年4月に仙台市青葉区にオープンした施設「仙臺緑彩館」を見学します。

見学会では、施設概要と建物の特徴について紹介のうえ、残月亭（市指定有形文化財）や仙臺城址の歴史的風情と共に青葉山公園のエントランス施設をご覧ください。また、仙臺緑彩館の和室にて呈茶体験を計画しています。

日時：11月20日（水） 13:30～16:00（予定）



[残月亭]



[仙臺緑彩館 和室]

※ 各イベントの詳細については、下記 URL の公共建築月間関連ページに掲載いたします。

東北地方整備局営繕部[イベント紹介] <https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00093/K00490/eizen/event/eventtop.html>

(一社)公共建築協会[公共建築の日紹介] https://www.pbaweb.jp/pb_date/events/

「公共建築相談窓口」について

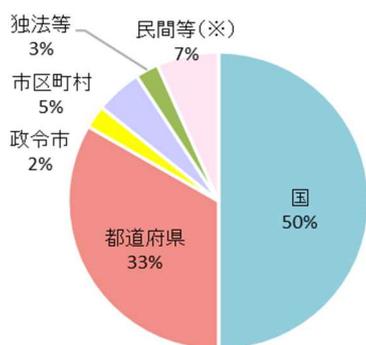
～ お気軽にお問い合わせください ～

東北地方整備局では、国等の機関、地方公共団体、建設業界の方、その他広く一般の方々から、公共建築における設計・工事の発注、各段階のマネジメント業務、老朽化対策、官庁営繕に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるため、公共建築相談窓口を設置しています。

令和5年度は、全国で2,779件の相談がありました。相談者の内訳は、国、都道府県、政令市及び市区町村のほか、民間等からも数多く相談が寄せられています。そのうち東北分は120件、内訳等は図1、図2のとおりです。

東北の相談内容は、既存庁舎の改修などの企画・予算措置に関する相談、「法定点検」や「修繕」などの施設の保全に関する相談が多くなっています。続いて、「共通費の算定」や「採用単価」など積算に関する相談、「入札参加者の要件」や「総合評価落札方式」等の入札契約手続きに関する相談があります。このほか、全国では、「積算」に関する相談が多く、具体的には「共通費」や「週休2日」に関する相談が多く寄せられています。

これからも、公共建築に関する技術的なご相談について、幅広くお答えいたしますので、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



※民間等：民間発注者、設計事務所、建設業者等

図1 相談者の内訳 [東北]

相談内容	件数	割合
企画・予算措置	27	22.5%
発注・実施	55	45.8%
設計	13	10.8%
積算	21	17.5%
入札契約手続き	15	12.5%
工事監理	6	5.0%
保全	23	19.2%
その他	15	12.5%
合計	120	100%

図2 相談件数及び内容 [東北]

<総合窓口>

- 東北地方整備局営繕部計画課（担当地区：東北6県）
〒980-8602 仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎（B棟）8階
TEL 022-225-2171（内線5153）（担当者：課長補佐）
E-mail thr-82keikaku@ki.mlit.go.jp

<公共建築相談窓口>

- 東北地方整備局営繕部保全指導・監督室（担当地区：宮城県、山形県、福島県）
〒980-8602 仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎（B棟）8階
TEL 022-225-2171（内線5513）（担当者：室長補佐）
E-mail thr-82kantoku@ki.mlit.go.jp
- 盛岡営繕事務所（担当地区：青森県、岩手県、秋田県）
〒020-0023 盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎 5階
TEL 019-651-2015（担当者：技術課長）
E-mail thr-moriei@ki.mlit.go.jp

営繕とうほく編集室

〒980-8602

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟
東北地方整備局 営繕部 計画課内
TEL 022-225-2171(代表)
E-mail: thr-82keikaku@ki.mlit.go.jp

ホームページアドレス

- 東北地方整備局 <https://www.thr.mlit.go.jp/>
- 盛岡営繕事務所 <https://www.thr.mlit.go.jp/moriei/>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます